

# 9月1日は ポウサイの日

日本は、位置、地形、地質、気象等の自然的条件から、さまざまな災害が発生しやすい国土となっています。

近年、全国的に頻発している大雨ですが、「集中豪雨」は同じ場所で数時間強く降り続く雨、「局地的大雨」は狭い範囲で数十分の短時間に急に強く降る雨のことを指します。これらが起きると、中小河川のはん濫や土砂崩れ、がけ崩れなど、大きな被害が予想されますので、気象情報には十分注意し、万全の対策をとるようにしましょう。



災害からの被害を軽減するためには、これまで発生した災害から得られた教訓を生かし、日常から災害時の被害軽減につながる備えを十分に行うとともに、災害時に迅速かつ適切な防災活動を行うことが重要です。

皆さんは、「自助」「共助」「公助」という言葉を聞いたことがありますか？

- 自助＝自分や家族のことを自ら守ること
- 共助＝地域コミュニティで共に助けあうこと
- 公助＝行政や警察、消防などによる救助・支援

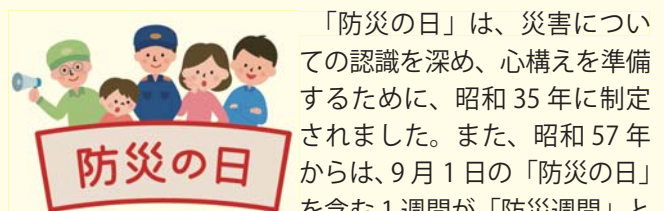
防災の基本は「自助」です。自分を守らなければ、知人・隣人などを助けることはできません。「自助」を行

うからこそ、「共助」につながります。つまり、「救助される人」ではなく、「救助する人」になることが大切なのです。

大規模災害が起こった時には、行政や警察、消防なども、同時に全ての現場に向かうことはできませんし、自衛隊など被災地の外からの応援の到着には時間がかかります。救出活動も消火活動も、早く始めるほど、そして、多くの人に参加するほど、被害を小さく抑えられます。つまり、災害が起きてすぐに重要なのは「自助」と「共助」です。

●9月1日(金)は防災の日

●8月30日(水)～9月5日(火)は防災週間



「防災の日」は、災害についての認識を深め、心構えを準備するために、昭和35年に制定されました。また、昭和57年からは、9月1日の「防災の日」を含む1週間が「防災週間」と定められています。9月1日という日付は、大正12年に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した「関東大震災」に由来しています。

●9月3日(日)～10日(日)は水防災意識強化週間

「水防災意識強化週間」は、平成27年9月に発生した「関東・東北豪雨」を忘れずに、住民1人ひとりが水防災を意識する社会を目指して、平成28年に制定されました。

## 災害時に備える ～被害を減らすために～

台風の大雨のように予測ができ、事前に対策をとれるものもありますが、多くの災害は突然起こります。突然の災害に対処するためには、日ごろからの備えがとて大切で。

### ●自分の家を安全な空間にする

自分の家を安全な空間にすることは、自分にしかできないことです。被害を最小限にできるよう、次のようなことに備えておきましょう。

- 家具は転倒防止具で固定する
- 家具の上など、高いところに割れやすいもの、重いものは置かないようにする
- 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- 防災加工のカーテンにする



### ●家族間で決めておく

- 家族が離れ離れになった場合の避難場所、連絡方法を決めておきましょう。
- ※事前に家から避難所までの経路は安全に通行できるか、確認しておきましょう。



- 家族の役割分担を決めておきましょう。

### ●普段から近所付き合いや地域活動に参加する

- 近所に手助けが必要な高齢者や障がいのある方がいるか、確認しておきましょう。
- 地域の自主防災組織の活動、避難訓練などに積極的に参加して、地域で協力し合きましょう。



## 災害用伝言ダイヤル（171）の使い方、知っていますか？

災害時に、家族・親戚・知人などの安否確認をする際は、電話や携帯電話の使用を極力控え、次のものを利用しましょう。

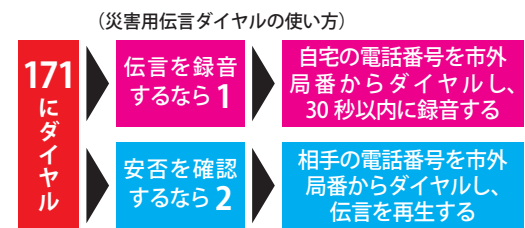
### ●「災害用伝言ダイヤル（171）」

大規模災害が発生した場合、被災地への電話が集中し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。（伝言の例）「(名前)です。家族は全員無事です。○○避難所にいます。」

※30秒以内のため、必要な情報を簡潔に！

### ●「災害用伝言板（web171）」

パソコンやスマートフォンから、固定電話や携帯電話の電話番号を入力して、安否情報（伝言）の登録・確認を行うことができます。また、事前に設定を行うことで、登録内容をメール・電話に自動通知することができます。詳しくは、NTTのホームページをご覧ください。※携帯電話各社でも「災害用伝言板」サービスを提供しています。詳しくは、各社のホームページをご覧ください。



「災害用伝言ダイヤル」、「災害用伝言版（web171）」には、体験利用日があります。ぜひご利用ください。

- 毎月1日・15日（終日）
- 正月三が日（終日）
- 防災週間（8月30日9:00～9月5日17:00）
- 防災とボランティア週間（1月15日9:00～1月21日17:00）

## 非常持ち出し品は、準備してありますか？



非常時に備えて、食糧、衣類などは、最低3日分の備蓄をしておきましょう。また、定期的に消費期限切れがないかなどの点検を行いましょ。

### ●貴重品

現金、預金通帳、印鑑、健康保険証、身分証明書（運転免許証など）など

### ●応急・衛生用品

救急セット、常備薬・常用薬、包帯、ガーゼ、タオル、ティッシュ、トイレトーパー、生理用品 など

### ●衣類

下着、靴下、上着、雨具 など

### ●食料品

非常食（乾パン・缶詰など）、水（1日3リットルを目安に）など

### ●情報収集のための道具

携帯ラジオ、携帯電話、家族の写真、家族・親戚・知人の連絡先、筆記用具 など

### ●道具類

懐中電灯、電池、ヘルメット・防災ずきん、ビニール袋、多機能ナイフ、マスク、軍手、ライター・マッチ、携帯用トイレ、使い捨てカイロ など

## 避難情報 ～危険を避けるために～

災害が発生する可能性があるときや発生した場合には、テレビ、ラジオなどで多くの気象情報が流れます。さらに、気象庁や市からも防災行政無線などを通して、さまざまな情報を提供します。災害について正しい知識を身につけ、いざというときに備えましょう。



### ●避難情報

災害による危険が迫ったときに、危険度に応じて、市から「避難準備情報・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」を発令します。これらの違いを理解し、発令された際には早めの避難を心掛けましょう。

また、指示がなくても身の危険を感じたときには、ためらわずに自主的に避難することが重要です。

	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備・高齢者等避難開始	災害が発生する可能性があるとき（避難勧告や避難指示を発令することが予想される場合）	○いつでも避難できるように避難の準備をする。また、ラジオやテレビ、市からの情報などに注意する ○避難に時間を要する人（高齢者や障がい者、乳幼児など）は避難を開始する
避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まったとき	○協力しあって、指定された避難場所に避難を開始する
避難指示（緊急）	人的被害の発生する危険性が非常に高まったとき	○避難場所へ直ちに避難する ※外出することで、かえって危険が及ぶような場合は、自宅内のより安全な場所に避難する

## 防災行政無線 ～人命を守るためのシステム～



防災行政無線では、市内101カ所に設置したスピーカーで、緊急・災害情報、行政情報などをお知らせしています。災害情報や国民保護情報は、国が運用する全国瞬時警報システム「Jアラート」で、市内一斉に自動放送されます。

### ●土砂災害が生じる可能性の高い地域には注意！

「土砂災害警戒区域」や「土砂災害特別警戒区域」とはどういう場所なのかを理解し、防災マップでどこが指定されているのか、事前に確認しておきましょう。

土砂災害警戒区域	○土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域
土砂災害特別警戒区域	○土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

### ●避難するときの注意点

家を出る前に	○外出中の家族に、避難先や安否がわかるメモを残しておきましょう。 ○ガスの元栓を閉め、ブレーカーを切りましょう。 ○できるだけ安全な服装を心掛け、必要最低限の携帯品にしましょう。
避難するときは	○あわてずに、2人以上で行動しましょう。 ○緊急車両の妨げになるおそれがあるため、特別な場合を除き、車での避難は控えましょう。 ○近所に声を掛けて、高齢者や子ども、障がいのある方など、手助けを必要とする人がいたら、協力して避難しましょう。 ○崖や川など、危険な場所には近付かず、安全なルートで避難しましょう。



防災行政無線の放送は、強風や雨などの気象条件や周辺環境に影響されやすいため、地域によって聞き取りにくい場合があります。

また、放送がうるさいと感じる方もいらっしゃると思いますが、災害などが発生した場合に人命を守るためのシステムですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 放送が聞き取りにくいときには…

- ☎（43）5151に電話して、確認する  
24時間以内の放送内容を聞くことができます。
- メール配信サービスに登録し、メールを受け取る  
「矢板市メール配信サービス」に登録すると、放送内容のうち、「Jアラート」を通じたもの（気象情報や警報、国民保護情報）が配信されます。右のQRコードを読み込み、そのままメールを送信してください。その後、受信したメール本文のURLに接続して、登録を行ってください。



問い合わせ／  
くらし安全環境課危機対策班 ☎（43）1114